



プレスリリース

2018年1月18日

CES 2018 が閉幕 **過去最大規模の展示スペースで、** **世界をつなぐテクノロジーを披露**

3,900社以上の出展企業が世界を変え、未来を垣間見せるテクノロジーを発表し、世界を驚嘆させたCES® 2018は、12日に閉幕しました。CESの51年の歴史で最大の展示フロアとなる、275万平方フィート以上の展示スペースにわたって、最新のテクノロジーを発表しました。

CES 2018に関するツイートは860,732件に上り、#CES2018のハッシュタグは450,554回使われました。CES 2018は、大手グローバル企業からEureka Park (CES スタートアップエリア)に出展した900社以上のスタートアップ企業まで、活気に満ちた世界のテクノロジー業界を映し出したものとなりました。

全米民生技術協会(CTA)のゲイリー・シャピロ(Gary Shapiro)会長兼CEOは、次のように述べています。「世界中から大小の企業がラスベガスに集結し、CESを利用して世界を変えるテクノロジーを発表しました。5G、スマートシティ、デジタルヘルス、AI、VR/ARなど、地球の未来を形成し、生活を向上させるテクノロジーが展示フロアで紹介されました。CESは、重要な構成技術を見て、これらのテクノロジーの相互の関わりについての理解を深めることができる世界的舞台であり、今日の画期的な革新と前途のビジョンの両方を、明確に切り取って見せてくれます」

CES 2018では、インテル、フォード、ファーウェイが基調講演に登壇しました。[インテルの開催前の基調講演](#)では、テクノロジーの進歩と創造的な技巧を活用した大掛かりで華やかな講演でした。この講演で、インテルは技術革新を訴え、ビッグデータの未来を探り、シューティング・スター・ミニ・ドローン・ショーでギネス世界記録を達成しました。このショーは、1人のパイロットがGPSを使用することなく最先端のソフトウェアを用いてドローン100機を飛行させるというものです。[フォードの開幕基調講演](#)は、スマートシティ向けシステム・ベースの手法で、信頼できる交通の未来を創り出すことにフォーカスしました。ファーウェイの基調講演は、同社のスマートフォン「Mate10 Pro」を来月から米国市場に投入することを発表しました。

CTAのCESおよびコーポレートビジネス戦略担当上級バイスプレジデントであるカレン・チュプカ(Karen Chupka)は、次のように述べています。「今やすべての業界がテクノロジーと関係しているため、エンターテインメントやマーケティング、スポーツ、ヘルスケア、自動車、ライフスタイルなど、多様な業界の大手グローバル企業や革新的なスタートアップ企業までCESに参加しています。今年は海外からの来場者数が過去最多となり、ドル高と米国への出張旅行が減少したことを考慮すると、驚くべき結果です。CESが本物の国際的イベントであることが、毎年実証されています」

この数日間で数々の画期的なテクノロジーが発表・探求・分析され、世界がさらにネットワーク化した未来に向かっていくことが明確になりました。CESの[スマートシティ](#)は、5G、AI、IoTなど、そうした多数の革新的技術にスポットライトを当てました。

CESカンファレンス・プログラムはテクノロジー業界全体を取り上げ、240人の女性を含む900人以上の講演者が参加し、約200件のカンファレンス・セッションを行いました。

IBM の CTO (最高技術責任者) 兼副社長のブリジット・カーリン (Bridget Karlin) 氏は、次のように述べています。「CES 2018 は、技術革新のワット数があまりにも高かったため、停電を起こしてしまった年として記憶に残るでしょう。世界各国の業界リーダーから起業家まで、参加者もかつてなく多様であり、CES 2018 は世界一流の技術革新の展示会であることをさらに確信しました」

新設されたスマートシティ・マーケットプレイスは、政策立案者、市当局者、業界の革新者などが参加して、多数のカンファレンス・セッションを実施しました。さらに CES 2018 には、閣僚 1 人、議員 10 人、海外の大臣 6 人など、政府機関のリーダーが数百人参加しました。

スマートスピーカーとデジタルアシスタントが、スピーカーやメガネから車やアプライアンスまで、あらゆるもので活用されている様子を CES で見ることができました。CES 2018 では量子コンピューティングも技術の未来における重要な要素として登場し、IBM やインテルなどの出展企業が紹介しました。

20 世紀フォックスの消費者事業開発・提携担当エグゼクティブバイスプレジデントのジョン・ペニー (John Penny) 氏は、次のように述べています。「CES は間違いなく世界一流のテクノロジーのショーケースであり、イノベーション・カタリストです。世界中から大小の企業や、多様性に富んだ起業家が一堂に会して、社会の最も差し迫ったニーズに対応するうえで役立つ技術や製品、サービスを見極めます。CES は国際社会の革新、企業、国々をつなぐためのシステムです」

CES 2018 で見逃した内容は、[CESTV](#) の再生でご覧いただけます。次回の CES は 2019 年 1 月 8 日～11 日に再びラスベガスにて開催します。詳細は、[CES.tech](#) をご覧ください。

CES について:

CES は世界中の民生機器テクノロジー業界の関係者が参加する世界最大規模のイベントです。CES は約 50 年に渡って、革新的な考えを持つ人々および革新的テクノロジーのための市場投入の可能性を探る場、つまり次世代の革新技術が市場に導入される可能性を見極めるためのグローバルな舞台として機能してきました。CES は世界最大の実践的展示場として、産業界のあらゆる局面を網羅していると言えるでしょう。CES は、民生機器テクノロジー業界を代表する技術産業団体である Consumer Technology Association (CTA™: 全米民生技術協会) が運営しており、CES で開催されるフォーラムでは、業界で最も関心の深い問題が議論され世界中の企業リーダーと先駆的なアイデアを持つ人々が集まります。CES のハイライトを紹介する[ビデオ](#)をご覧ください。CES に関する詳細情報は Web サイト [CES.tech](#) をご覧ください。また、[SNS](#) での情報発信もご参照ください。

Consumer Technology Association (CTA) について:

The Consumer Technology Association (CTA™: 全米民生技術協会、旧称: 全米家電協会 (CEA®)) は、3,210 億ドル規模の米国家電業界を代表するテクノロジー業界団体で、米国で 1,500 万人以上の雇用を創出しています。2,200 社を超える企業 (その内 80% は中小企業および新興企業、その他は世界の有名ブランド) が、法令・規制の提唱、市場調査、技術的な訓練・教育、産業の推進、規格の開発、ビジネスと戦略的關係の育成などで CTA 会員であるメリットを享受しています。また、CTA は民生機器テクノロジー業界の関係者が全世界から集まる場である CES® を主催・運営しています。CES からの利益は CTA の業界サービスに再投資されています。

このプレスリリースに関するお問い合わせ

株式会社井之上パブリックリレーションズ CES 広報担当 リットウィン/関口

Tel: 03-5269-2301 Fax: 03-5269-2305

Email: m-litwin@inoue-pr.com / toshiyuki.sekiguchi@inoue-pr.com